

第 1 回 奈良のシカ保護管理計画検討委員会 議事要旨【速報版】

日 時：平成 25 年 12 月 17 日（火）午前 10 時～午前 12 時

場 所：奈良県新公会堂 1 階 会議室 1・2

出席者：委 員 長 村上 興正

委 員 朝廣 佳子、小西 涼治、立澤 史郎、玉手 英利、鳥居 春己、松井 淳

関係部局 《奈 良 県》文化財保存課、農業水産振興課、森林整備課、奈良公園管理事務所

《奈 良 市》観光振興課、農林課、文化財課

《関係団体》(一財)奈良の鹿愛護会、奈良公園のシカ相談室、鹿害阻止農家組合

議題 ①奈良のシカ保護管理計画検討委員会の設置について

②奈良のシカの現況と課題について

③今後のスケジュールについて

議事要旨

○奈良のシカ保護管理計画検討委員会の設置について

- ・奈良のシカの保護、人身被害回避、生態系及び農作物等の被害軽減、人とシカとの共存を図るため、奈良のシカ保護管理計画検討委員会を設置した。
- ・原始林、平坦部植栽、奈良のシカの 3 委員会は、相互に連携し奈良公園全体の戦略を推進するとともに、資料提供を行いながら各委員会の議論を深めていく。

○奈良のシカの現況と課題について

- ・奈良のシカは、奈良県、奈良市、春日大社が管理主体となり協力（連携）し対策すること、奈良県がその代表となっていることを確認した。
- ・保護管理を検討するにあたり、生育地域の地区区分（A・B・C・D 地区）を検証するとともに、地区毎の課題整理、方向づけを行っていくことを前提とする。
- ・鳥居委員が実施した調査など、既往調査結果のとりまとめを充実し、今後の必要な調査を抽出する。
- ・遺伝子調査結果や生息密度調査など、各既往調査の関係性を分析していくことで、調査結果の充実を図るとともに、今後必要な調査の実施年度を検討する。
- ・農作物に併せて、家庭菜園や花卉など個人への被害状況についても実態調査が必要である。
- ・人身事故や誤飲など、人とシカの距離感や関係をどう構築していくか議論する必要がある。
- ・平坦部植栽、原始林におけるシカの影響の把握が必要になった場合は本委員会が連携を行う。
- ・保護管理については、歴史的経緯を踏まえながら、A・B 地区は愛護を中心とした議論、C・D 地区は農作物被害状況やシカの頭数など、現状や課題を把握し有識者を交えた議論を深めていく。

○今後のスケジュールについて

- ・検討事項、アウトプットは現案をたたき台としながら、本委員会での議論を深めていくこととした。
- ・次回委員会は 3 月開催を想定している。各回の議論を深めながら保護管理計画の策定を進めていくこととする。